

# 香川ニュース

第47号

編集発行  
香川自治会  
会報 委員 会  
南 治 員 会  
湘 報 委 会  
備 湘 南

## 駅舎の移設を市へ要望 カーブのない駅前道路に

ここ十余年の間に、香川地区は大きく変わりました。香川駅とその周辺も、乗降客の増加によって、朝夕の通勤、通学時間は、自動車交通量の増加とあいまって、安全上問題です。

そこで、香川自治会では、駅舎の移設による道路改修で、駅前交通の安全をはかるよう市議会に要請しました。



いま、香川駅の一日の乗降客は約七千人を数え、朝夕の通勤時は相当混雑します。また、駅前道路を走る自動車の数も多く歩道もなく、しかも道路幅せまく、そのうえ、駅舎が出ばって通しのかからないカーブをつくり非常に危ない状況となつていま

そこで、香川自治会では、先に駅ホームに屋根を設けるよう要請していますが、こんどは、駅前道路の安全について、市議会議長あて請願をしました。

これは、現在の駅舎をホーム寄り三〇四メートル移動させ駅前道路の見通しをよくし、交通安全をはかるというものです。

ご存知のように、国鉄は経営状態思わしくなく、この相模線も赤字線ですから、なおのこと国鉄の負担で改善工事が行なわれることは困難です。そこで、市の財政支出と後押しが必要

になるわけです。

市議会では、香川自治会からの請願を受けて、早速、六月十九日朝、総務委員会による現地視察を行い、その趣旨を理解して、受理しました。

一日も早く、自治会の要望が実現するよう期待しましょう。

なお、今回の請願でも、プラットホームの屋根の設置を、重ねて申し込みました。

やがて、安全な駅前道路が実現することでしょうが、それに関係なく、つねに安全運転、安全歩行に心がけましょう。

香川の道路はカーブが非常に多いようです。車は安全速度で運転して下さい。

## 防犯灯三〇本を新設へ

### 環境整備への努力つづく

ことしの自治会活動の重点目標としては、環境整備がうたわれていきます。そのため、環境整備委員(委員長鈴木辰夫)が活躍をお願いしているわけですが、今月は、防犯灯やゴミ問題など、香川自治会の環境整備活動について報告し、会員皆さんのご協力をいただきたいと思ひます。

〔防犯灯〕ことしは、新しく三十カ所が、自治会の申請にもとづいて、市より設置され、七月一日から点灯しました。設置箇所については、委員が現場を夜間に調査し、婦人の安全通行を最優先に決定しました。

〔カーブミラー〕危険箇所である一、六〇八番地先に設置。

〔道路の補修〕道路のデコボコなど、簡単な補修の場合は、会員からの連絡を受けると、委員が現場を確認、市から砂利など材料の供給をしてもらい、近所協力によつて修理に当るようになっている。

〔側溝の清掃〕年一回(5月14日、8月6日、10月1日、12月17日)の一斉清掃日をつけていますが、日常生活の中で、各自が自宅の周りの側溝清掃を定着させることが目標です。

- 一、桜らんまん 駅前広場 振り向く姿に 笑顔と笑顔
- 二、富士の姿も 夏化粧 小出の川も うちわ持つ手に 螢のあかり
- 三、菊の香りが ゆかた連れ

## 香川の歌

自治会顧問 国末節

- 一、第一町内会 三村長一郎 花元 克 山口 忠 渡根逸郎
  - 二、第二町内会 越石隆三 関根優行 力政雄 石田正美
  - 三、第三町内会 熊沢武雄 春日 敏 田中房枝 坂田繁三
  - 四、第四町内会 鈴木 辰 小沢良一 三橋 実 熊沢 巧
- 軒から軒へ 黄金刈る唄 畔から街へ 永久につながる 文化のかおり 雪がちらつく 小高い丘も わたしの肩も 自治会館や街並の いらかもみんな けがれない 茅ヶ崎 香川

## ご存知? 広域避難場所

### 地震に備え消防団活動

ことしも、防災の日(九月一日)がやってきました。ところで、皆さんは、地震災害の際の、広域避難場所をご存知ですか。

市の指定する正規の広域避難場所は、「スリーハンドレッド・ゴルフ・クラブ」で、任意の避難場所は香川小学校となっています。正規の避難場所には、市によって、食糧、飲料水、薬品、医療など応急対策がとられます。任意の避難場所には、これらの対策はありません。

香川自治会でも、自治会館に対策本部を設置することにしています。そのため、自治会館は重量鉄骨構造による耐震性建物です。救助活動の中心となる香川の消防団(団長小野健さん)では現在、各町内会の適当な広場を、各町内会の避難場所と指定し、そこから広域避難場所へ誘導しようと、適当な広場と、安全な誘導道路の検討をすすめています。

また災害時に問題になるのはデマの流布です。これについて

## 会社・法人など 特別会員の 会則を変更

七月九日に開かれた自治会の評議員会(市でいうと議会のような役割を持っている)にて、現在、自治会のかかえている問題などが、審議されましたが、そのひとつに、法人会員についての会則変更があります。

これは会社、法人などの特別会員を新しく、次のように規定し、四月にさかのぼって会費の納入等をお願いしようというもので、評議員会で承認されました。

- ① 常時従業員が四人(家族従業員を含む)以上の法人 月三百円
  - ② 他地区の法人で香川地区内に支店・出張所を有する法人 月三百円
  - ③ 他地区居住者(個人)で香川地区内に事務所・営業所を有する事業者 月百五十円
  - ④ 地区内居住者(個人)で住所と営業所が分離している事業者(但し、隣接する場合は除く)ことができる 月百五十円
- なお、特別会員の会費納入については、自治会で直接担当し領収書を発行することになっていきます。皆さんのご理解とご協力をお願いいたします。

小野団長は「災害発生とともに香川の消防団は、市の消防本部と無線で結ばれ、市の本部は県の災害対策本部、警察本部とも直結されるので、消防団の情報を信頼し、団員の指示、誘導にしたがって欲しい」と訴えています。

今年になって、伊豆近海、宮城県沖と二つの大きな地震がおきています。

お宅の地震対策はいかがですか。日頃から、家族みんなで、避難場所、そこへの順路、非常持出品、常備用品等の確認、また、グラッと来たらず火を消すこと、さらにブロック塀の安全など十分に検討、確認をしておきたいものです。



### 香川スポーツ少年団

香川スポーツ少年団も地域の協力を得て、今年で五年目を迎えました。活動も活発で又、市への協力等で昨年県知事の表彰状を頂きました。スポーツ少年団の組織は、少年達が、自由時間に、地域社会で、スポーツを中心とした、グループ活動を行っている団体で、小学三年から中学三年まで一四六名おります。練習は毎週日曜で、北部リーグや少年野球大会、県大会などの公式試合に出場しています。また、体力テストやハイキングなども行っています。

### 献血活動に参加

去る六月十四日香川自治会及び地域住民の方を対象として一時三時まで自治会館前にて、献血が行われました。時間的にみて、主婦の方が多いうでした。受付された方61名、その内採血された方46名(男子12名)(女子34名)でした。15名の方が不相当とされましたが、理由は、比重不足、女子10名、血圧が低い現症あり、などでした。献血へのご協力ありがとうございます。



自治会館前の献血車

### かがわ文庫

半年の利用一〇七四世帯  
夏休み中 毎土曜10~12時

身近にあつて、だれでも気軽に利用できる図書館を、という母親たちのねがいから生まれたかがわ文庫は、スタートして半年あまり、その根は少しずつ地域の中に広がって来ています。

#### ふえる利用と支援

毎週土曜日の午後、自治会館の一階には、待ちかねたようにやってくる、本を探している子どもたち、連れだつて来て、それぞれに読む本を選んでいく親子の姿が見られます。第一土曜の紙芝居、第四の、文化厚生部と共催の映画会も、子どもたちのお楽しみ行事となりました。賛同者もふえて、現在ボランティアは二四人、他にもいろいろな形で支援が寄せられています。特に、寄贈図書は八百冊以上にもなり、その整理に追われて、ボランティアたちは嬉しい悲鳴をあげています。

#### 文庫の現状

(七月八日現在)

- 一、蔵書数 五〇〇冊
- 市立図書館より (二ヶ月毎配本) 約八〇〇冊
- 一、貸し出し状況 七五五冊
- 登録者数 一八七世帯
- 利用者数 一月一四日~七月八日まで 二三四延べ 一〇七四世帯 一回平均 四七世帯



どの本にしようかな — かがわ文庫

### 夏の夜に踊りの輪

8月10~15日 青少年広場で

「踊る阿呆に見る阿呆」で知られる徳島の阿波踊りの華やかさ、郡上八幡の賑やかさは望まぬけれども、せめて、見る者、踊る者すべての人々の心が一つになつて踊りの輪を……そんな香川の盆踊りにしていきなさいという願いをもとに、文化厚生委員(委員長 曾弥秀次氏)が中心となつて現在企画を進めています。香川自治会は、市内でも二千

### 自治会活動の記録

- 6月
  - 1日 香川ニュース発行 防火訓練実施
  - 4日 香和会
  - 9日 自治会事業 予算書を市へ提出
  - 14日 市議会へ香川駅の駅舎移設を請願 献血車香川自治会館へ
  - 15日 防災訓練
- 7月
  - 17日 鶴が台地区地域づくり運営委員会
  - 19日 市議会総務委員会が香川駅と市営住宅視察
  - 25日 相模線連絡協議会
  - 26日 消防自動車検査
  - 2日 防火訓練
  - 5日・7日 結核予防接種
  - 15日 浜降祭・映画会・防火訓練
  - 16日 相模線連絡協議会

### 小さな善意 第2町内会



チリ一つない道が……

せめて家の中はきれいにという気持ち、家の前だけは……と、家の前の道路だけは……と考へつく事は容易なことですが、率先して実行にうつすとすると二の足を踏むものです。

毎日、ホウキを片手に、チリトリを持って道路を清掃している人がいます。そのあとには水を打って……。毎朝、通学途中の小学生とどちらからもなく挨拶しあつて光景もみかけます。ごくあたり前のようにやっています。その行為は、近所の人々の話題にもなります。

わすかの距離のことだからといって見逃すことのできない何かを感じさせてくれます。二日・三日とチリの落ちていく日があれば誰からもなく、「あのおじさんはどこかへ出かけたのかしら」「体の具合が悪いかしら」と聞きあうそうです。

住み良い香川づくりをめざしているなかで、第二町内会における小さな善意の発見です。

### ガラクタは集収日に出すように

ガラクタの集収日は、毎月第二土曜日ですが、集収日の何日も前から出す人、集収日に間に合わず、そのまま置いていつてしまふ人などが多いようです。これは、集収場所が道路わきであるため、交通安全上、また環境衛生上問題です。ガラクタは集収日の午前9時頃まで、あるいは前日に出してください。(環境整備委員)

### 訂正とお詫び

市民陸上競技大会、七月九日とあるのは九月三日の誤りでした。また、先号で、香川のあゆみ編集委員長を斉藤治さんと誤つてお知らせしてしまいました。正しくは国末 節さんが委員長です。お詫びして訂正します。

### 編集後記

今号は、夏休みにタイミングを合わせて発行しました。国末顧問から、ご挨拶のかわりに「香川の歌」をいただきました。どなたか、名曲をつけてください。なお、歌詩のうち、「小出の川も」の川は「みず」と「永久」には「とわ」と読みます。さびしい暑さがつづきます。お元気で過ごしてください。